

# 平成30年度 決算に関する説明資料

- 1 各種会計歳入歳出決算総括表 (P1)
- 2 各種会計歳入決算前年度比較表 (P2)
- 3 各種会計歳出決算前年度比較表 (P3)
- 4 一般会計歳入決算前年度比較表 (P4)
- 5 一般会計歳出決算前年度比較表 (P5)
- 6 一般会計性質別歳出決算前年度比較表 (P6)
- 7 市税決算前年度比較表 (P7)
- 8 都市計画税充当説明資料 (P8)
- 9 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる  
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 (P9)
- 10 地方交付税の概要 (P10)
- 11 各種基金の状況 (P11)
- 12 東日本大震災に係る災害復旧費等の決算状況 (P12)
- 13 各種会計地方債の状況 (P14)
- 14 健全化判断比率及び資金不足比率 (P15)
- 15 健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等 (P19)
- 16 普通会計決算状況分析主要指標 (P20)
- (参考) 普通会計決算状況分析主要指標の見方 (P21)



## 平成30年度 各種会計歳入歳出決算総括表

(単位:円)

会計区分	予算現額 (A)	決算額			備考	予算現額と決算額との比較		
		歳入(B)	歳出(C)	差引残額(B-C)		歳入(B-A)	歳出(A-C)	
一般会計	14,651,814,000	13,897,534,900	13,447,894,454	449,640,446	繰越明許費繰越財源 43,001,600 翌年度繰越額 200,000,000 財政調整基金繰入額 206,638,849	▲754,279,100	1,203,919,546	
特別会計	国民健康保険事業	3,460,029,000	3,367,291,944	3,360,274,962	7,016,982	翌年度繰越額 3,508,000 国民健康保険事業財政調整基金繰入額 3,508,982	▲92,737,056	99,754,038
	後期高齢者医療	338,128,000	325,522,616	323,492,585	2,030,031	翌年度繰越額 2,030,031	▲12,605,384	14,635,415
	介護保険	3,136,598,000	3,052,036,476	2,943,631,085	108,405,391	翌年度繰越額 48,992,000 介護保険事業財政調整基金繰入額 59,413,391	▲84,561,524	192,966,915
	公共下水道事業	1,603,077,000	1,498,087,488	1,492,263,628	5,823,860	繰越明許費繰越財源 5,401,540 翌年度繰越額 422,320	▲104,989,512	110,813,372
	農業集落排水事業	107,416,000	104,151,243	104,016,673	134,570	翌年度繰越額 134,570	▲3,264,757	3,399,327
	東根財産区	501,000	298,702	298,702	0		▲202,298	202,298
	計	8,645,749,000	8,347,388,469	8,223,977,635	123,410,834		▲298,360,531	421,771,365
合計	23,297,563,000	22,244,923,369	21,671,872,089	573,051,280		▲1,052,639,631	1,625,690,911	

区分		収入(A)	支出(B)	差引額(A-B)	備考	
企業会計	水道事業	収益的 予算現額	1,070,664,000	1,130,291,400	▲59,627,400	収益的収支(税抜き) 総収益 1,038,832,938 円 総費用 1,011,593,770 円 当年度純利益 27,239,168 円
		決算額	1,118,113,219	1,062,331,845	55,781,374	
	資本的	予算現額	85,531,000	541,398,000	▲455,867,000	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 334,614,242円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 22,564,396円、減債積立金 17,966,765円及び過年度分損益勘定留保資金 294,083,081円で補填。
		決算額	85,533,168	420,147,410	▲334,614,242	

# 平成30年度 各種会計歳入決算前年度比較表

歳入

(単位:千円、%)

会計区分		平成30年度		平成29年度		比較		摘要 【】内の数字は平成29年度との比較	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率		
一般会計		13,897,535	59.3	13,292,293	57.5	605,242	4.6	○市税 3,379,117 【+8,170 +0.2%】 ○地方交付税 3,775,799 【▲16,384 ▲0.4%】 ○保育所等整備国庫交付金 197,732 【+176,451 +829.1%】 ○認定子ども園施設整備等県交付金 皆減 【▲200,206】 ○財政調整基金繰入金 350,000 【▲150,000 ▲30.0%】 ○繰越金 409,602 【+184,685 +82.1%】 ○市債 1,531,985 【+375,785 +32.5%】	
特別会計	国民健康保険事業	3,367,292	14.4	3,813,437	16.5	▲ 446,145	▲ 11.7	○国民健康保険税 541,393 【▲33,869 ▲5.9%】 ○保険給付費等県交付金 2,363,883 【皆増】 ○一般会計繰入金 217,305 【+9,986 +4.8%】 ○財政調整基金繰入金 94,000 【▲89,000 ▲48.6%】 ○前期高齢者交付金 皆減 【▲1,023,491】 ○共同事業交付金 皆減 【▲664,837】	
	後期高齢者医療	325,523	1.4	318,916	1.4	6,607	2.1	○後期高齢者医療保険料 220,073 【+5,624 +2.6%】 ○一般会計繰入金 98,406 【+1,159 +1.2%】	
	介護保険	3,052,036	13.0	2,977,107	12.9	74,929	2.5	○介護保険料 647,104 【+33,478 +5.5%】 ○一般会計繰入金 419,150 【+15,226 +3.8%】	
	公共下水道事業	1,498,088	6.4	1,448,810	6.3	49,278	3.4	○下水道使用料 262,254 【+11,034 +4.4%】 ○社会資本整備総合交付金 131,435 【+606 +0.5%】 ○一般会計繰入金 578,760 【+79,621 +16.0%】 ○市債 517,200 【▲14,400 ▲2.7%】	
	農業集落排水事業	104,151	0.4	103,695	0.4	456	0.4	○農業集落排水処理施設使用料 17,217 【+389 +2.3%】 ○一般会計繰入金 61,207 【+686 +1.1%】 ○市債 25,600 【▲600 ▲2.3%】	
	東根財産区	299	0.0	523	0.0	▲ 224	▲ 42.8	○立木売却分収金 皆減 【▲502】 ○財産造成基金繰入金 278 【皆増】	
	計	8,347,389	35.6	8,662,488	37.5	▲ 315,099	▲ 3.6		
企業会計	水道事業	収益的收入	1,118,113	4.8	1,041,557	4.5	76,556	7.4	○水道料金 916,439 【+7,138 +0.8%】 ○水道高料金対策一般会計補助金 60,375 【+19,134 +46.4%】 ○修繕引当金戻入益 29,747 【皆増】
		資本的收入	85,533	0.3	108,500	0.5	▲ 22,967	▲ 21.2	○水道管路耐震化事業費一般会計出資金 36,216 【+11,737 +47.9%】 ○工事負担金 20,856 【▲29,790 ▲58.8%】
	計	1,203,646	5.1	1,150,057	5.0	53,589	4.7		
合計		23,448,570	100.0	23,104,838	100.0	343,732	1.5		

# 平成30年度 各種会計歳出決算前年度比較表

歳出

(単位:千円、%)

会計区分		平成30年度		平成29年度		比較		摘要	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率		
【 】内の数字は平成29年度との比較									
一般会計		13,447,894	58.1	12,697,152	56.2	750,742	5.9	○販わいの交流拠点施設整備事業 727,029 【+405,052 +125.8%】 ○小・中学校空調設備設置事業 241,188 【皆増】 ○ふるさと納税事業 115,473 【+80,589 +231.0%】 ○施設型給付費 146,367 【+77,150 +111.5%】 ○公共下水道事業特別会計繰出金 578,760 【+79,621 +16.0%】 ○臨時福祉給付金支給事業 皆減 【▲103,208】	
特別会計	国民健康保険事業	3,360,275	14.5	3,714,932	16.4	▲ 354,657	▲ 9.5	○保険給付費 2,373,905 【+33,845 +1.4%】 ○国民健康保険事業費納付金 839,629 【皆増】 ○後期高齢者支援金等 皆減 【▲408,565】 ○共同事業拠出金 1 【▲655,482 ▲100.0%】	
	後期高齢者医療	323,493	1.4	318,824	1.4	4,669	1.5	○後期高齢者医療広域連合納付金 307,612 【+2,904 +1.0%】 ○健康診査事業費 6,633 【+566 +9.3%】	
	介護保険	2,943,631	12.7	2,907,767	12.9	35,864	1.2	○保険給付費 2,691,386 【+58,597 +2.2%】 ○地域支援事業費 160,338 【+8,631 +5.7%】	
	公共下水道事業	1,492,264	6.4	1,446,649	6.4	45,615	3.2	○下水道建設費 339,174 【+8,782 +2.7%】 ○消費税及び地方消費税納付金 31,164 【+27,245 +695.2%】	
	農業集落排水事業	104,016	0.5	103,567	0.5	449	0.4	○施設維持費 25,312 【+3,586 +16.5%】 ○農業集落排水施設災害復旧費 皆減 【▲2,002】	
	東根財産区	299	0.0	283	0.0	16	5.7	○会議費 125 【+16 +14.2%】	
	計	8,223,978	35.5	8,492,022	37.6	▲ 268,044	▲ 3.2		
企業会計	水道事業	収益的支出	1,062,332	4.6	1,009,625	4.5	52,707	5.2	○受水費 472,320 【+114 +0.02%】 ○枝野浄水場制御盤修繕費 64,254 【皆増】 ○減価償却費 257,240 【+6,820 +2.7%】
		資本的支出	420,147	1.8	382,653	1.7	37,494	9.8	○建設改良費 336,939 【+52,722 +18.5%】 ○企業債元金償還金 83,209 【▲15,228 ▲15.5%】
	計	1,482,479	6.4	1,392,278	6.2	90,201	6.5		
合 計		23,154,351	100.0	22,581,452	100.0	572,899	2.5		

# 平成30年度 一般会計歳入決算前年度比較表

歳入

(単位:千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較		摘 要 【 】内の数字は平成29年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 市 税	3,379,117	24.3	3,370,947	25.4	8,170	0.2	○個人市民税 1,150,758 【▲13,265 ▲1.1%】 ○法人市民税 246,713 【+45,064 +22.3%】 ○固定資産税 1,485,782 【▲18,703 ▲1.2%】
2 地 方 譲 与 税	185,856	1.3	184,331	1.4	1,525	0.8	○地方揮発油譲与税 53,663 【+251 +0.5%】 ○自動車重量譲与税 132,193 【+1,274 +1.0%】
3 利 子 割 交 付 金	3,476	0.0	4,138	0.0	▲ 662	▲ 16.0	
4 配 当 割 交 付 金	7,226	0.1	9,576	0.1	▲ 2,350	▲ 24.5	
5 株式等譲渡所得割交付金	6,139	0.0	9,689	0.1	▲ 3,550	▲ 36.6	
6 地方消費税交付金	580,581	4.2	553,559	4.2	27,022	4.9	
7 ゴルフ場利用税交付金	3,666	0.0	3,733	0.0	▲ 67	▲ 1.8	
8 自動車取得税交付金	55,183	0.4	59,360	0.4	▲ 4,177	▲ 7.0	
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,590	0.1	13,989	0.1	▲ 1,399	▲ 10.0	
10 地方特例交付金	16,352	0.1	13,915	0.1	2,437	17.5	○減収補てん特例交付金
11 地 方 交 付 税	3,775,799	27.2	3,792,183	28.5	▲ 16,384	▲ 0.4	○普通交付税 3,113,659 【▲38,268 ▲1.2%】 ○特別交付税 431,449 【▲16,684 ▲3.7%】 ○震災復興特別交付税 230,691 【+38,568 +20.1%】
12 交通安全対策特別交付金	3,738	0.0	4,005	0.0	▲ 267	▲ 6.7	
13 分担金及び負担金	42,567	0.3	87,614	0.7	▲ 45,047	▲ 51.4	○橋りょう整備事業負担金 31,370 【▲46,050 ▲59.5%】
14 使用料及び手数料	199,944	1.4	200,771	1.5	▲ 827	▲ 0.4	○保育料 80,514 【+1,608 +2.0%】 ○児童館等利用料 4,824 【▲2,310 ▲32.4%】 ○住宅使用料 57,526 【▲2,641 ▲4.4%】
15 国 庫 支 出 金	1,695,419	12.2	1,467,076	11.0	228,343	15.6	○保育所等整備交付金 197,732 【+176,451 +829.1%】 ○農山漁村振興交付金 89,085 【皆増】 ○臨時福祉給付金給付事業費等補助金 皆減 【▲103,202】
16 県 支 出 金	827,934	6.0	919,783	6.9	▲ 91,849	▲ 10.0	○認定こども園施設整備交付金等 皆減 【▲200,206】 ○担い手確保・経営強化支援事業費補助金 41,136 【皆増】 ○子どものための教育・保育給付費負担金 35,217 【+14,779 +72.3%】
17 財 産 収 入	62,911	0.5	48,723	0.4	14,188	29.1	○土地売払収入 40,688 【+11,099 +37.5%】
18 寄 附 金	249,778	1.8	192,544	1.5	57,234	29.7	○ふるさと納税寄附金 245,730 【+176,957 +257.3%】 ○仙南ケアセンター建設に係る地元対策事業寄附金 皆減 【▲123,603】
19 繰 入 金	461,543	3.3	517,055	3.9	▲ 55,512	▲ 10.7	○財政調整基金繰入金 350,000 【▲150,000 ▲30.0%】 ○減債基金繰入金 50,000 【皆増】
20 繰 越 金	409,602	3.0	224,917	1.7	184,685	82.1	○純繰越金 180,000 【±0】 ○繰越財源繰越金 229,602 【+184,685 +411.2%】
21 諸 収 入	386,129	2.8	458,185	3.4	▲ 72,056	▲ 15.7	○スポーツ振興くじ助成金 9,563 【▲25,196 ▲72.5%】 ○仙南広域角田衛生センター負担金返還金 皆減 【▲20,112】 ○後期高齢者医療療養給付費負担金返還金 14,098 【▲12,644 ▲47.3%】
22 市 債	1,531,985	11.0	1,156,200	8.7	375,785	32.5	○賑わいの交流拠点施設整備事業充当債 278,900 【+100,700 +56.5%】 ○小・中学校空調設備設置事業充当債 181,900 【皆増】 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金充当債 36,000 【+26,700 +287.1%】
	13,897,535	100.0	13,292,293	100.0	605,242	4.6	

# 平成30年度 一般会計歳出決算前年度比較表

歳出

(単位:千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較		摘 要 【】内の数字は平成29年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 議 会 費	166,272	1.2	170,692	1.4	▲ 4,420	▲ 2.6	○議員共済会負担金 27,509 【▲1,071 ▲3.7%】 ○議場放送設備借上料 皆減 【▲1,568】
2 総 務 費	1,878,925	14.0	1,755,906	13.8	123,019	7.0	○ふるさと納税事業 115,473 【+80,589 +231.0%】 ○地域振興公社事業費補助金 127,688 【+30,173 +30.9%】 ○阿武隈急行線緊急保全整備事業 36,032 【+26,612 +282.5%】 ○Challenge Million負担金 30,055 【+11,167 +59.1%】
3 民 生 費	3,799,913	28.3	3,888,621	30.6	▲ 88,708	▲ 2.3	○施設型給付費 146,367 【+77,150 +111.5%】 ○児童手当等支給事業 411,449 【▲17,582 ▲4.1%】 ○保育施設整備事業 252,977 【▲15,021 ▲5.6%】 ○生活保護扶助費 139,855 【▲34,574 ▲19.8%】 ○臨時福祉給付金支給事業 皆減 【▲103,208】
4 衛 生 費	922,789	6.9	949,329	7.5	▲ 26,540	▲ 2.8	○みやぎ県南中核病院企業団負担金及び出資金 292,878 【+7,004 +2.5%】 ○仙南グリーンセンター負担金 25,838 【▲15,575 ▲37.6%】 ○仙南グリーンセンター建設に伴う水道本管布設事業負担金 10,661 【▲32,347 ▲75.2%】 ○上水道高料金対策補助金 60,375 【+19,134 +46.4%】
5 労 働 費	16,636	0.1	25,986	0.2	▲ 9,350	▲ 36.0	○シルバー人材センター補助金 14,000 【+2,000 +16.7%】 ○婦人研修センター屋根改修工事費 皆減 【▲11,232】
6 農 林 業 費	677,744	5.1	611,523	4.8	66,221	10.8	○農地集積・集約化対策事業費補助金 21,756 【+9,971 +84.6%】 ○農地整備事業 8,704 【皆増】 ○担い手確保・経営強化支援事業費補助金 41,136 【皆増】 ○農作物等災害対策事業費補助金(生産振興特別助成) 皆減 【▲14,060】
7 商 工 費	1,100,193	8.2	722,622	5.7	377,571	52.3	○賑わいの交流拠点施設整備事業 727,029 【+405,052 +125.8%】 ○街なか交流拠点施設整備事業 50,679 【+48,411】 ○スペーススター・コスモハウス学習棟整備事業 皆減 【▲30,032】 ○観光ルートサイン設置事業 皆減 【▲27,002】 ○観光物産協会補助金 12,942 【▲18,781 ▲59.2%】
8 土 木 費	1,831,204	13.6	1,928,722	15.2	▲ 97,518	▲ 5.1	○寺前1号線道路改良事業 皆減 【▲35,489】 ○道路舗装事業 77,706 【▲71,025 ▲47.8%】 ○枝野橋補修事業 140,297 【▲38,599 ▲21.6%】 ○住社橋整備事業 214,100 【▲23,480 ▲9.9%】 ○公共下水道事業特別会計繰出金 578,760 【+79,621 +16.0%】
9 消 防 費	448,211	3.3	442,209	3.5	6,002	1.4	○仙南広域消費費負担金 322,079 【+1,861 +0.6%】 ○小型動力ポンプ付積載車等購入費 18,792 【+3,834 +25.6%】
10 教 育 費	1,456,710	10.8	1,146,984	9.0	309,726	27.0	○小・中学校空調設備設置事業 241,188 【皆増】 ○子どもの心のケアハウス運営事業 14,688 【皆増】 ○自治センター施設整備事業 23,166 【+21,708】 ○スポーツ交流館浴室等改修事業 皆減 【▲22,197】
11 災 害 復 旧 費	69,943	0.5	101,855	0.8	▲ 31,912	▲ 31.3	○農林業施設災害復旧費 11,812 【▲25,496 ▲68.3%】 ○公共土木施設災害復旧費 58,131 【▲6,416 ▲9.9%】
12 公 債 費	1,079,354	8.0	952,703	7.5	126,651	13.3	○定期償還元金 1,002,363 【+139,751 +16.2%】 ○定期償還利子 76,991 【▲13,100 ▲14.5%】
13 諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	-	
歳 出 合 計	13,447,894	100.0	12,697,152	100.0	750,742	5.9	

# 平成30年度 一般会計性質別歳出決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較		摘 要 【】内の数字は平成29年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
義務的経費	5,244,858	39.0	5,157,859	40.6	86,999	1.7	
人件費	2,454,563	18.3	2,426,695	19.1	27,868	1.1	○職員給(給料・手当) 1,398,354 【▲6,768 ▲0.5%】 ○職員退職手当組合負担金 234,281 【+10,906 +4.9%】 ○心のケアハウス事業適応指導員報酬 7,828 【皆増】
扶助費	1,710,900	12.7	1,778,392	14.0	▲ 67,492	▲ 3.8	○施設型給付費 146,367 【+77,150 +111.5%】 ○児童手当支給費 406,970 【▲17,695 ▲4.2%】 ○生活保護扶助費 139,855 【▲34,574 ▲19.8%】 ○臨時福祉給付金 皆減 【▲97,575】
公債費	1,079,395	8.0	952,772	7.5	126,623	13.3	○定期償還元金 1,002,363 【+139,751 +16.2%】 ○定期償還利子 76,991 【▲13,100 ▲14.5%】 ○基金繰替運用利子 41 【▲28 ▲40.6%】
一般行政経費	5,599,520	41.6	5,350,411	42.2	249,109	4.7	
物件費	1,826,478	13.6	1,745,964	13.8	80,514	4.6	○ふるさと納税事業事務費 47,700 【+37,280 +357.8%】 ○小・中学校管理業務等委託料 18,845 【+9,251 +96.4%】 ○スポーツ交流館指定管理料 14,890 【+6,856 +85.3%】
維持補修費	185,733	1.4	178,951	1.4	6,782	3.8	○橋りょう定期点検業務委託料 15,660 【+6,583 +72.5%】
補助費等	1,841,671	13.7	1,834,610	14.5	7,061	0.4	○仙南地域広域行政事務組合負担金 526,825 【▲24,492 ▲4.4%】 ○みやぎ県南中核病院企業団負担金 168,695 【+15,230 +9.9%】 ○ふるさと納税返礼報償費 67,773 【+43,309 +177.0%】 ○農作物等災害対策事業費補助金(生産振興特別助成) 皆減 【▲14,060】
積立金	247	0.0	280	0.0	▲ 33	▲ 11.8	
投資及び出資金・貸付金	370,559	2.7	322,452	2.5	48,107	14.9	○みやぎ県南中核病院企業団出資金 124,183 【▲8,226 ▲6.2%】 ○水道管路耐震化事業費出資金 36,216 【+11,737 +47.9%】 ○榊まちづくり角田出資金 50,000 【皆増】
繰出金	1,374,832	10.2	1,268,154	10.0	106,678	8.4	○国民健康保険事業特別会計繰出金 217,305 【+9,986 +4.8%】 ○介護保険特別会計繰出金 419,150 【+15,226 +3.8%】 ○公共下水道事業特別会計繰出金 578,760 【+79,621 +16.0%】
投資的経費	2,603,516	19.4	2,188,882	17.2	414,634	18.9	
普通建設事業費	2,533,573	18.9	2,087,027	16.4	446,546	21.4	○保育施設整備事業 252,977 【▲15,021 ▲5.6%】 ○賑わいの交流拠点施設整備事業 670,325 【+348,657 +108.4%】 ○街なか交流拠点施設整備事業 50,679 【+48,411】 ○小・中学校空調設備設置事業 241,188 【皆増】
災害復旧事業費	69,943	0.5	101,855	0.8	▲ 31,912	▲ 31.3	○農林業施設災害復旧費 11,812 【▲25,496 ▲68.3%】 ○公共土木施設災害復旧費 58,131 【▲6,416 ▲9.9%】
歳出合計	13,447,894	100.0	12,697,152	100.0	750,742	5.9	



## 平成30年度 市税決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較		摘 要 【 】内の数字は平成29年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 市 民 税	1,397,471	41.4	1,365,672	40.5	31,799	2.3	
(1) 個 人	1,150,758	34.1	1,164,023	34.5	▲ 13,265	▲ 1.1	○均等割 47,540 【▲418 ▲0.9%】 ○所得割 1,103,218 【▲12,847 ▲1.2%】
(2) 法 人	246,713	7.3	201,649	6.0	45,064	22.3	○均等割 74,003 【+3,281 +4.6%】 ○法人税割 172,710 【+41,783 +31.9%】
2 固 定 資 産 税	1,485,782	43.9	1,504,485	44.6	▲ 18,703	▲ 1.2	
(1) 土 地	457,404	13.5	459,514	13.6	▲ 2,110	▲ 0.5	
(2) 家 屋	668,588	19.8	694,191	20.6	▲ 25,603	▲ 3.7	○評価替による減
(3) 償 却 資 産	358,772	10.6	349,806	10.4	8,966	2.6	○設備投資の増
(4) 交 付 金	1,018	0.0	974	0.0	44	4.5	
3 軽 自 動 車 税	106,474	3.2	105,133	3.1	1,341	1.3	
4 市 た ば こ 税	219,121	6.5	221,796	6.6	▲ 2,675	▲ 1.2	○販売本数の減
5 都 市 計 画 税	170,269	5.0	173,861	5.2	▲ 3,592	▲ 2.1	○土地 73,967 【▲209 ▲0.3%】 ○家屋 96,302 【▲3,383 ▲3.4%】
合 計	3,379,117	100.0	3,370,947	100.0	8,170	0.2	

## 平成30年度 都市計画税充当説明資料

(単位:千円)

区 分	一般会計 歳出科目	決算額	財 源 内 訳				一般財源の うち都市計 画税充当額 ②	その他一般 財源充当額 ①-②
			国県支出金	地方債	その他	一般財源 ①		
街 路	-					0	/	/
公 園	-					0		
下水道 (公共下水道事業特別会計 繰出金のうち建設費充当額)	-					0		
都市計画事業	/	0	0	0	0	0		
土地区画整理事業	-					0		
街 路	-					0		
公 園	12-1-1 12-1-2	10,187				10,187		
下水道 (公共下水道事業特別会計 繰出金のうち公債費充当額)	8-5-1	551,455				551,455		
土地区画整理事業	-	0				0		
過去の都市計画事業等に 係る公債費 (地方債の元利償還金)	/	561,642	0	0	0	561,642		
合 計	/	561,642	0	0	0	561,642	170,269	391,373

※平成30年度は都市計画事業及び土地区画整理事業はなかったので、都市計画税は過去に実施した公園整備事業、下水道事業の公債費に充てられている。

※「都市計画税充当額」は、都市計画税を区分ごとの予算額であん分。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)	地方消費税交付金（社会保障財源化分）	239,045 千円
(歳出)	社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費	4,893,949 千円

【社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業	平成30年度 決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	2,437,916	1,382,132	35,500	132,100	71,605	816,579
社会保険	1,003,456	185,723		96	65,918	751,719
保健衛生	1,452,577	192,565		746	101,522	1,157,744
合計	4,893,949	1,760,420	35,500	132,942	239,045	2,726,042

※1 社会保障財源化分の地方消費税交付金は、社会保障４経費その他社会保障施策（社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策をいう。）に要する経費に充てるものとされている。

(注) 「社会保障４経費」…制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費

※2 事業の「社会福祉」は障害者福祉事業、児童福祉事業など。「社会保険」は国民健康保険事業、介護保険事業など。「保健衛生」は地域医療対策事業、感染症予防事業など。

※3 「社会保障財源化分の地方消費税交付金」の合計額は、地方消費税交付金の決算額580,581千円のうち社会保障財源化分239,045千円を計上。  
「社会福祉」「社会保険」「保健衛生」の「社会保障財源化分の地方消費税交付金」は、「社会保障財源化分の地方消費税交付金合計額」を一般財源額である分。

## 平成30年度 地方交付税の概要

### 1 普通交付税

(単位：千円、%)

区 分		平成30年度	平成29年度	増 減		増減理由等
				増減額	増減率	
基準財政需要額	個別算定経費 (b)～(e)を除く (a)	5,199,219	5,157,613	41,606	0.8	土木費7,004、教育費11,344、厚生費27,265、産業経済費▲4,820
	地域経済・雇用対策費 (b)		23,678	▲ 23,678	▲ 100.0	臨時費目廃止に伴う減
	地域の元気創造事業費 (c)	90,862	92,236	▲ 1,374	▲ 1.5	
	人口減少等特別対策事業費 (d)	157,406	161,510	▲ 4,104	▲ 2.5	
	公債費 (e)	634,755	571,391	63,364	11.1	東日本大震災全国緊急防災施策等償還費54,402
	包括算定経費 (f)	845,270	885,201	▲ 39,931	▲ 4.5	
	小計 ((a)～(f)の合計) (g)	6,927,512	6,891,629	35,883	0.5	
	臨時財政対策債振替額 (h)	447,785	448,600	▲ 815	▲ 0.2	
	錯誤措置額 (i)	▲ 5,208	▲ 2,078			
	合計 ((g)－(h)＋(i)) ①	6,474,519	6,440,951	33,568	0.5	
基準財政収入額	基準財政収入額 (j)	3,353,247	3,283,943	69,304	2.1	市町村民税25,092、固定資産税31,912、地方消費税交付金25,321、市たばこ税▲32,277
	錯誤措置額 (k)	7,613	0			
	合計 ((j)＋(k)) ②	3,360,860	3,283,943	76,917	2.3	
交付基準額 ③ (=①－②)		3,113,659	3,157,008	▲ 43,349	▲ 1.4	
調整額 ④		0	▲ 5,081			本算定時の調整額 (H30：▲6,269千円) は追加交付により復活
普通交付税の決定額 ⑤ (=③＋④)		3,113,659	3,151,927	▲ 38,268	▲ 1.2	

### 2 特別交付税

(単位：千円、%)

区 分		平成30年度	平成29年度	増 減		平成30年度の算入内容
				増減額	増減率	
通常分 ⑥		431,449	448,133	▲ 16,684	▲ 3.7	
震災復興分 ⑦		230,691	192,123	38,568	20.1	
災害復旧事業		0	2,904	▲ 2,904	▲ 100.0	
原発事故関係	風評被害対策等	3,729	3,525	204	5.8	空間放射線量測定、農産物等放射性物質検査、汚染堆肥保管パイプハウス修繕
	子どもの生活支援等	111	113	▲ 2	▲ 1.8	学校給食及び保育所給食の放射能測定検査
地方税法の改正等に伴う地方税の減収額		6,075	6,411	▲ 336	▲ 5.2	市民税(個人・法人)、固定資産税、都市計画税、自動車取得税交付金
復興特区における課税免除		225,097	179,747	45,350	25.2	固定資産税(償却資産、家屋)
条例による地方税等の減免額		8	91	▲ 83	▲ 91.2	市営住宅の目的外使用料(応急仮設住宅としての入居分)
過年度分過大・過少算定額		▲ 4,329	▲ 668			過年度に算定対象となった事業が終了し、事業費が確定したことによる精算分
合計 ⑧ (=⑥＋⑦)		662,140	640,256	21,884	3.4	

### 3 地方交付税の総額

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	
			増減額	増減率
地方交付税 (=⑤＋⑧)	3,775,799	3,792,183	▲ 16,384	▲ 0.4

## 平成30年度 各種基金の状況

(単位：千円)

基金名	平成29年度末 現在高	平成30年度中の増減額			平成30年度末 現在高	令和元年度中の増減見込額		令和元年度末 現在高見込額
		積立額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩額	取崩額の説明・充当先		積立予定額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩予定額	
財政調整基金	1,510,376	138 185,539	350,000	歳入歳出財源不足に対応した取り崩し	1,346,053	340 206,639	485,263	1,067,769
減債基金	681,623	68	50,000	公債費増に対応した取り崩し	631,691	120	50,000	581,811
その他特定目的基金	376,849	40	61,543		315,346	97,896	27,171	386,071
明日を拓く人材育成基金	89,833	10	4,500	姉妹都市等交流事業（グリーンフィールド市3,600、栗山町・石川町500、目黒区400）	85,343	20	5,100	80,263
震災復興基金	2,253		2,253	自主防災組織支援事業612、避難所資機材等整備事業1,641				
角田市育英会奨学金基金						51,180	5,362	45,818
長寿社会対策基金	4,673		1,500	高齢者福祉タクシー助成事業1,500	3,173	10	1,500	1,683
21世紀の田園文化創造基金	7,867	1			7,868	10		7,878
農業振興基金	26,598	2	1,530	野菜生産振興事業1,000、農業後継者就農支援事業500、農業担い手育成資金利子補給事業30	25,070	10	3,420	21,660
森林環境整備基金						5,759	4,839	920
都市整備基金	196,917	22	47,100	街区公園整備事業19,100、交通公園園路改修事業28,000	149,839	40		149,879
文化財保護基金						40,857	1,950	38,907
スポーツ振興基金	48,708	5	4,660	各種スポーツ振興事業（阿武隈リバーサイドマラソン大会900、スポーツ団体助成2,800、各種大会出場助成960）	44,053	10	5,000	39,063
合計	2,568,848	246 185,539	461,543		2,293,090	98,356 206,639	562,434	2,035,651

基金名	平成29年度末 現在高	平成30年度中の増減額			平成30年度末 現在高	令和元年度中の増減見込額		令和元年度末 現在高見込額
		積立額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩額	取崩額の説明・充当先		積立予定額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩予定額	
国民健康保険事業財政調整基金	469,927	110 49,253	94,000	歳入歳出財源不足に対応した取り崩し	425,290	156 3,509	146,762	282,193
介護保険事業財政調整基金	288,290	34 34,445			322,769	72 59,413	25,548	356,706
東根財産区財産造成基金	5,230	1 240	278	歳入歳出財源不足に対応した取り崩し	5,193	10	461	4,742

※ 定額運用基金は除く。

※ 令和元年度の積立予定額及び取崩予定額は、8月補正後の見込額。

東日本大震災に係る災害復旧費等の決算状況

●一般会計

(単位：千円)

事業区分	事業名	総計 (イ+ロ +ハ+ニ)	平成22年度から平成29年度まで						歳出 科目	決算額 (ロ)	平成30年度						令和元年度		
			決算額 (イ)	財源内訳				震災復興 特別交付税			一般財源	国支	県金	地方債	その他	震災復興 特別交付税	一般財源	平成30年度 からの繰越額 (ハ)	当初予算額 (ニ)
				国支	県金	地方債	その他												
災害復旧	農業用施設災害復旧事業	92,100	92,100	55,254			17,624	19,222	-	0									
	林業用施設災害復旧事業	10,733	10,733	4,274			2,679	3,780	-	0									
	公共土木施設災害復旧事業	1,069,970	1,069,970	690,758		29,202	216,677	133,333	-	0									
	民生施設災害復旧事業	1,674	1,674				1,582	92	-	0									
	保健衛生施設災害復旧事業	2,055	2,055	468			1,578	9	-	0									
	公立学校施設災害復旧事業	58,479	58,479	42,711			9,328	6,440	-	0									
	公立社会教育施設災害復旧事業 (市民センター解体撤去事業を除く)	180,624	180,624	85,610			47,496	47,518	-	0									
	その他公共施設・公用施設災害復旧事業	75,929	75,929				67,452	8,477	-	0									
小計(I)	1,491,564	1,491,564	879,075	0	29,202	364,416	218,871		0	0	0	0	0	0	0	0			
他団体への補助金	宮城県市町村自治振興センター負担金(東北自治総合研修センター災害復旧事業分)	123	123				123		-	0									
	阿武隈急行災害復旧費補助金	35,266	35,266			24,485	10,781		-	0									
	仙南地域広域行政事務組合負担金(あぶくま畜産災害復旧事業分)	3,699	3,699				3,699		-	0									
	仙南地域広域行政事務組合負担金(消防費負担金のうち消防施設災害復旧事業分)	61,071	61,071				55,563	5,508	-	0									
	仙南地域広域行政事務組合負担金(農林業系廃棄物処理事業分)	1,706	1,554				1,554		4-2-1	152				(152)	0				
宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合負担金(東日本大震災に係る追加費用分)	15,960	15,960					15,960		-	0									
小計(II)	117,825	117,673	0	0	24,485	71,720	21,468		152	0	0	0	(152)	0	0	0			
繰出金	上水道施設災害復旧費補助金	22,263	22,263				2,212	20,051	-	0									
	農業集落排水事業特別会計繰出金(災害復旧事業費分繰出金)	41,220	41,220				25,459	15,761	-	0									
	公共下水道事業特別会計繰出金(災害復旧事業費分繰出金)	658,691	658,691				390,060	268,631	-	0									
小計(III)	722,174	722,174	0	0	0	417,731	304,443		0	0	0	0	0	0	0	0			
放射線対策	農作物放射性物質吸収低減対策事業	227,708	227,708	38,744			67,616	121,348	-	0									
	平成23年度原発事故農畜産物被害対策つなぎ資金利子補給金	75	75					75	-	0									
	放射線対策事業	536,412	494,539	375,741		96	82,588	36,114	9-1-6	5,670	1,350		13	(1,350) 3,729	▲ 772	36,203			
小計(IV)	764,195	722,322	414,485	0	96	150,204	157,537		5,670	1,350	0	13	(1,350) 3,729	▲ 772	0	36,203			
撤がれ去き	災害等廃棄物処理事業等	118,335	118,335	94,837			20,739	2,759	-	0									
	公立社会教育施設災害復旧事業(市民センター解体撤去事業)	61,328	61,328	43,496			13,847	3,985	-	0									
	小計(V)	179,663	179,663	138,333	0	0	34,586	6,744		0	0	0	0	0	0	0	0		
被そ 災の 者他	東日本大震災記録誌作製業務委託料	853	853			853			-	0									
	定住促進・角田・いらっしやいプラン推進事業補助金(被災者支援分)	37,500	37,500			24,750		12,750	-	0									
	地域づくり総合交付金(自主防災組織訓練経費等)	2,323	1,711			1,711			2-1-10	612			612						
	災害救助事業(応急仮設住宅改修費、災害見舞金分、宅地災害復旧事業補助金等)	207,701	207,701	113,050		36,438		58,213		-	0								

支復 ・ 援興	農地・水保全管理支払交付金（災害復旧分）	1,404	1,404				1,404	-	0								
	農業災害対策資金利子助成金	431	431	358		70		3	-	0							
	中小企業災害復旧資金利子助成金	1,004	1,004			427		577	-	0							
	災害対策事業（自主防災組織支援事業補助金、防災土養成支援事業補助金等）	54,332	52,620			44,165		8,455	9-1-5	1,712			1,641		71		
	角田市市民センター整備事業（災害復旧事業分を除く）	3,129,784	3,129,784	91,783	2,866,280	42		171,679	-	0							
	角田市文化財保護事業補助金	1,123	1,123			88		1,035	-	0							
小計（VI）	3,436,455	3,434,131	205,191	2,866,280	108,544	1,404	252,712		2,324	0	0	2,253	0	71	0	0	
合計①	6,711,876	6,667,527	1,637,084	2,866,280	162,327	1,040,061	961,775		8,146	1,350	0	2,266	(1,502) 3,729	▲701	0	36,203	

●特別会計（公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）

事業区分	事業名	総計 (イ+ロ +ハ+ニ)	決算額 (イ)	平成22年度から平成29年度まで					歳出 科目	決算額 (ロ)	平成30年度					令和元年度	
				財源内訳							財源内訳					平成30年度 からの繰越額 (ハ)	当初予算額 (ニ)
				国 支 出	県 金	地 方 債	一 般 会 計 繰 入 金	一 般 財 源			国 支 出	県 金	地 方 債	一 般 会 計 繰 入 金	一 般 財 源		
災害復旧	公共下水道施設災害復旧事業	3,045,821	3,045,821	2,389,109	86,500	570,212		-	0								
	農業集落排水施設災害復旧事業	95,454	95,454	52,530	3,900	39,024		-	0								
合計②		3,141,275	3,141,275	2,441,639	90,400	609,236		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

●企業会計（水道事業会計）

事業区分	事業名	総計 (イ+ロ +ハ+ニ)	決算額 (イ)	平成22年度から平成29年度まで					歳出 科目	決算額 (ロ)	平成30年度					令和元年度	
				財源内訳							財源内訳					平成30年度 からの繰越額 (ハ)	当初予算額 (ニ)
				国 支 出	県 金	地 方 債	一 般 会 計 補 助 金	一 般 財 源			国 支 出	県 金	地 方 債	一 般 会 計 補 助 金	一 般 財 源		
災害復旧	過年度損益修正損 (上水道施設災害復旧事業)	36,430	36,430	8,035		19,403		-	0								
	臨時損失 (上水道施設災害復旧事業)	16,717	16,717	1,854		2,860		-	0								
合計③		53,147	53,147	9,889	0	22,263		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	総計 (イ+ロ +ハ+ニ)	決算額 (イ)	平成22年度から平成29年度まで					歳出 科目	決算額 (ロ)	平成30年度					令和元年度	
			財源内訳							財源内訳					平成30年度 からの繰越額 (ハ)	当初予算額 (ニ)
			国 支 出	県 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源			国 支 出	県 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
合計(①+②+③)	9,906,298	9,861,949	4,088,612	2,956,680	793,826	1,040,061	982,770	8,146	1,350	0	2,266	(1,502) 3,729	▲701	0	36,203	
合計(会計間の繰入繰出の重複計上分を除く)	9,274,799	9,230,450						8,146						0	36,203	
うち公共施設災害復旧費総額 (一般会計の小計(Ⅰ)+合計②+合計③)	4,685,986	4,685,986						0						0	0	

※「総計(イ+ロ+ハ+ニ)」は、平成22年度から平成30年度までの決算額、平成30年度からの繰越額及び令和元年度の当初予算額の合算額です。

※一般会計における「繰入金」の決算額と、特別会計（公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）における「一般会計繰入金」の決算額は、決算後に特別会計における一般会計繰入金の不用額を一般会計へ繰出すことにより精算しているため、一致しません。

※「合計(会計間の繰入繰出の重複計上分を除く)」は、「合計(①+②+③)」から「合計②」における一般会計繰入金の合計609,236千円と「合計③」における一般会計補助金22,263千円を除いたものです。

※平成30年度一般会計の「財源内訳」の「その他」のうち震災復興基金繰入金を充当しているのは、地域づくり総合交付金（自主防災組織訓練経費等）612千円、災害対策事業1,641千円であり、総額で2,253千円です。

※平成30年度震災復興特別交付税交付決定額は230,691千円であり、「合計(①+②+③)」の震災復興特別交付税3,729千円との差額(226,962千円)は、市税等の減免・減収分に対して算定されるもの(231,180千円)、小中学校及び保育所給食食材の放射能測定検査に対して算定されるもの(111千円)、平成25～29年度過大算定による減額分(▲4,329千円)となっています。

※平成30年度「財源内訳」中、( )内は外書きで平成29年度からの繰越分です。

# 平成30年度 各種会計地方債の状況

(単位：千円)

会計区分	地方債区分	平成29年度末 現在高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現在高	令和元年度中増減見込額 (平成30年度繰越分含む)(8月補正後見込)		令和元年度末 現在高見込額	
			起債額	元金償還額		起債見込額	元金償還見込額		
一般会計	1. 普通債	(34,700) 8,385,214	1,070,000	(16,976) 582,953	(17,724) 8,872,261	965,900	(3,217) 624,518	(14,507) 9,213,643	
	2. 災害復旧債	163,921	14,200	20,493	157,628		20,673	136,955	
	3. 減税補てん債	124,660		31,536	93,124		22,408	70,716	
	4. 臨時財政対策債	5,575,571	447,785	367,381	5,655,975	400,000	399,203	5,656,772	
	小計	(34,700) 14,249,366	1,531,985	(16,976) 1,002,363	(17,724) 14,778,988	1,365,900	(3,217) 1,066,802	(14,507) 15,078,086	
特別会計	公共下水道事業	1. 公共下水道事業債	(521,635) 6,394,541	216,600	(95,755) 514,367	(425,880) 6,096,774	161,400	(78,595) 507,021	(347,285) 5,751,153
		2. 流域下水道事業債	(33,060) 266,859	7,000	(11,399) 32,789	(21,661) 241,070	8,900	(4,660) 26,410	(17,001) 223,560
		3. 災害復旧債	84,091		3,351	80,740		4,560	76,180
		4. 資本費平準化債	2,780,157	233,500	191,463	2,822,194	205,000	198,076	2,829,118
		5. 下水道事業特例債	660,676	60,100	36,839	683,937	57,400	40,700	700,637
		6. 高資本費対策借換債	38,385		20,714	17,671		17,671	
	小計	(554,695) 10,224,709	517,200	(107,154) 799,523	(447,541) 9,942,386	432,700	(83,255) 794,438	(364,286) 9,580,648	
	農業集落排水事業	1. 農業集落排水事業債	525,219	3,200	41,718	486,701	2,500	42,624	446,577
		2. 災害復旧債	5,800		170	5,630		173	5,457
		3. 資本費平準化債	193,208	22,400	16,080	199,528	22,900	16,008	206,420
		小計	724,227	25,600	57,968	691,859	25,400	58,805	658,454
	企業会計	水道事業	1. 企業債	(14,743) 901,549		(14,743) 83,209	818,340	63,109	755,231
	合計		(604,138) 26,099,851	2,074,785	(138,873) 1,943,063	(465,265) 26,231,573	1,824,000	(86,472) 1,983,154	(378,793) 26,072,419

※ 貸付利率4.0%以上の地方債現在高は、( )で内書きしています。



## 平成30年度 健全化判断比率及び資金不足比率について

### 1. 健全化判断比率 [財政の早期健全化・再生に関する判断比率]

○早期健全化基準を超える場合：自主的な改善努力による財政健全化（財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け）

○財政再生基準を超える場合：国等の関与による確実な再生（財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け、地方債の起債の制限）

	説明	平成30年度決算に基づく比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	「一般会計等」を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	—（—）	13.81%	20.00%
連結実質赤字比率	「全会計」を対象とした実質赤字（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	—（—）	18.81%	30.00%
実質公債費比率	「一般会計等」が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率	7.1%（6.6%）	25.0%	35.0%
将来負担比率	「一般会計等」が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	105.2%（90.9%）	350.0%	—

※「一般会計等」…角田市の場合は一般会計のみ対象、「全会計」……角田市の場合は東根財産区特別会計を除く

※（ ）は平成29年度決算に基づく比率

### 2. 資金不足比率 [公営企業の経営健全化に関する判断比率]

○経営健全化基準を超える場合：経営健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け

	説明	会計区分	平成30年度決算に基づく比率	経営健全化基準
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率	水道事業会計	—（—）	20.0%
		公共下水道事業特別会計	—（—）	
		農業集落排水事業特別会計	—（—）	

※（ ）は平成29年度決算に基づく比率

## 健全化判断比率等の概要について

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

○ 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率（平成 30 年度決算では実質赤字額はなし）

・ 実質赤字額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

繰上充用額：歳入不足のため、翌年度歳入を繰り上げて充用した額（なし）

支払繰延額：実質上歳入不足のため、支払を翌年度に繰り延べた額（なし）

事業繰越額：実質上歳入不足のため、事業を繰り越した額（なし）

・ 標準財政規模（標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常一般財源の額）

= 標準税収入額等（4,225,363 千円）+ 普通交付税（3,113,659 千円）+ 臨時財政対策債発行可能額（447,785 千円）

= **7,786,807 千円**

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額} \{ (A+B) - (C+D) \}}{\text{標準財政規模}}$$

○ 全会計を対象とした実質赤字額（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率

（平成 30 年度決算では実質赤字額又は資金の不足額を生じた会計はなし）

A：一般会計及び公営企業（地方公営企業法適用企業・非適用企業）以外の特別会計のうち、実質赤字を生じた会計の実質赤字の合計額（なし）

B：公営企業の特別会計のうち、資金の不足額を生じた会計の資金の不足額の合計額（なし）

C：一般会計及び公営企業以外の特別会計のうち、実質黒字を生じた会計の実質黒字の合計額（524,091 千円）

D：公営企業の特別会計のうち、資金の剰余額を生じた会計の資金の剰余額の合計額（809,079 千円）

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \text{の3か年平均}$$

○ 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

- ・ 地方債の元利償還金 : **1,079,354 千円**
- ・ 準元利償還金 (①～⑤の合計額) : **795,975 千円**
  - ① 満期一括償還地方債について、償還期間を 30 年とする元金均等年賦償還をした場合の 1 年当たりの元金償還金相当額 (なし)
  - ② 一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち公営企業債の償還に充てたと認められるもの (**670,759 千円**)
  - ③ 組合・地方開発事業団 (組合等) への負担金・補助金のうち、組合等が起こした地方債の償還の財源に充てたと認められるもの (**124,791 千円**)
  - ④ 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの (**425 千円**)
  - ⑤ 一時借入金の利子 (なし)
- ・ 特定財源 (住宅使用料、都市計画税等) : **173,126 千円**
- ・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 : **1,122,981 千円**
- ・ 標準財政規模 : **7,786,807 千円**

※ 平成 30 年度の単年度の実質公債費比率は、上記の算式により 8.69203%になるが、平成 28、29 年度の単年度の比率はそれぞれ 6.48922%、6.22079%となっているので、3 か年平均は **7.1%**になる。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

○ 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

・ 将来負担額（①～⑧の合計額）：27,797,168 千円

① 一般会計等の地方債現在高（14,778,988 千円）

② 債務負担行為に基づく支出予定額（地方財政法第5条各号の経費等に係るもの）（なし）

③ 一般会計等以外の会計の地方債の元金償還に充てる一般会計等からの繰出見込額（9,216,057 千円）

④ 当該団体が加入する組合等の地方債の元金償還に充てる当該団体からの負担等見込額（1,770,027 千円）

⑤ 退職手当支給予定額（全職員に対する期末要支給額）のうち、一般会計等の負担見込額（1,878,686 千円）

⑥ 地方公共団体が設立した一定の法人の負債の額、その者のために債務を負担している場合の当該債務の額のうち、当該法人等の財務・経営状況を勘案した一般会計等の負担見込額及び公的信用保証に係る損失補償見込額（なし）

⑦ 連結実質赤字額（なし）

⑧ 組合等の連結実質赤字額相当額のうち一般会計等の負担見込額（153,410 千円）

・ 充当可能基金額：3,240,362 千円

・ 特定財源見込額（住宅使用料、都市計画税等）：2,615,902 千円

・ 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額：14,924,254 千円

・ 標準財政規模：7,786,807 千円

・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額：1,122,981 千円

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

○ 公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率

（平成30年度決算では、いずれの会計も資金の不足額はなし）

資金の不足額：一般会計等の実質赤字に相当するものとして公営企業会計ごとに算定した額（なし）

事業の規模：料金収入など主たる営業活動から生じる収益等に相当する額

水道事業会計（878,455 千円） 公共下水道事業特別会計（314,461 千円） 農業集落排水事業特別会計（17,217 千円）

健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等

一般会計等	一般会計 ○						
	一般会計等に属する特別会計	公債管理 勤労者福祉共済 母子寡婦福祉資金貸付 その他事業					
公営事業会計	一般会計等以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の特別会計	国民健康保険 ○ 駐車場					
		介護保険 ○ 交通災害共済					
		後期高齢者医療 ○ 公営競技					
		農業共済 公立大学付属病院					
		老人保健医療 有料道路					
		介護サービス					
公営企業会計	公営企業に係る会計 (地公企法を適用する事業又は地財令第46条の事業)	法適用企業・法非適用企業	水道事業 ○ 病院				
		簡易水道 市場					
		工業用水道 と畜場					
		交通 宅地造成					
		電気 下水道（農集排含む） ○					
		ガス 観光施設					
		港湾整備 その他法適用事業					
		宮城県市町村職員退職手当組合 ○ 宮城県後期高齢者医療広域連合 ○	一部事務組合・広域連合				
仙南地域広域行政事務組合 ○ 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合 ○							
宮城県市町村自治振興センター ○ みやぎ県南中核病院企業団 ○							
地方公社・第三セクター等	角田市土地開発公社 ○						

※○は、角田市の健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等です。

## 平成 30 年度 普通会計決算状況分析主要指標

角田市における主要指標の推移(10か年)

単位: % (財政力指数を除く)

項目 年度	財政力	実質収支	経常一般	経常収支	義務的経費	投資的経費	財 調	積立金	地 方 債	実質赤字	連結実質	実質公債費	将来負担
	指 数	比 率	財源比率	比 率	比 率	比 率	現在高比率	現在高比率	現在高比率	比 率	赤字比率	比 率	比 率
平成 21 年度	0.52	2.9	94.7	91.6	41.7	9.5	20.3	30.0	138.7	-	-	10.7	83.8
平成 22 年度	0.48	5.7	93.4	87.9	43.1	16.1	21.0	31.5	131.0	-	-	10.9	68.1
平成 23 年度	0.46	5.1	94.9	91.6	38.7	17.3	21.9	33.6	134.1	-	-	10.9	67.7
平成 24 年度	0.44	5.7	96.5	93.2	40.8	15.6	24.5	37.2	133.9	-	-	11.4	66.8
平成 25 年度	0.46	7.2	92.0	93.0	40.2	17.2	27.2	40.7	136.2	-	-	11.2	70.9
平成 26 年度	0.48	5.1	90.6	97.8	35.6	26.8	24.5	36.5	159.5	-	-	9.8	72.9
平成 27 年度	0.50	4.8	92.9	97.5	36.5	18.2	25.0	36.9	170.5	-	-	8.0	76.9
平成 28 年度	0.50	4.7	94.5	96.9	38.3	17.4	23.5	37.4	179.8	-	-	7.0	82.9
平成 29 年度	0.50	4.7	93.6	99.2	39.9	17.3	19.5	33.1	183.8	-	-	6.6	90.9
平成 30 年度	0.51	5.2	92.9	103.0	38.4	19.4	17.3	29.4	189.8	-	-	7.1	105.2

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、いずれも赤字でないことから「-」と表記しています。

## ～普通会計決算状況分析主要指標の見方～

1. **財政力指数**……基準財政収入額／基準財政需要額で表され、この数値が1に近く、あるいは超えるほど財政力が強いとみることができる。3か年平均の数値。

2. **実質収支比率**……標準財政規模に対する実質収支の割合である。通常この比率は3～5％程度が望ましいとされている。

$$\text{(算式)} \quad (\text{実質収支額} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

3. **経常一般財源比率**……毎年度経常的に収入され、かつ自由にその用途を決定することのできる財源の標準財政規模に対する割合である。この比率が高いほど財政運営は弾力的であるといえる。

$$\text{(算式)} \quad (\text{経常一般財源収入額} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

4. **経常収支比率**……財政構造の弾力性をみるうえで最も重要な比率であり、人件費、扶助費、公債費等のように容易に縮減することのできない経常的経費に、市税、普通交付税等を中心とする経常的な一般財源がどの程度充当されているかを測定しようとするものである。

$$\text{(算式)} \quad (\text{歳出総額のうち経常的経費に充当した一般財源} / \text{歳入総額のうち広義の経常的一般財源}) \times 100$$

5. **義務的経費比率**……歳出総額に対する義務的経費の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{人件費} + \text{扶助費} + \text{公債費}) / \text{歳出総額} \times 100$$

6. **投資的経費比率**……歳出総額に対する投資的経費の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{普通建設事業費} + \text{災害復旧事業費} + \text{失業対策事業費}) / \text{歳出総額} \times 100$$

7. **財調現在高比率・積立金現在高比率**……標準財政規模に対する財政調整基金(積立金現在高比率:財政調整基金+減債基金+特定目的基金)現在高の割合である。この比率が高いほど将来に対する蓄えが大であるということがいえる。

$$\text{(算式)} \quad (\text{財政調整基金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

$$(\text{積立金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

8. **地方債現在高比率**……標準財政規模に対する地方債現在高の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{地方債年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

9. **実質赤字・連結実質赤字比率**……一般会計等(連結実質赤字比率:特別会計等の全会計を含む)を対象とした実質赤字(連結実質赤字比率:実質赤字又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率。

10. **実質公債費比率**……一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、3か年平均の数値。(以前の地方債発行の指標であった「起債制限比率」から、平成18年度より下水道など公営企業債の返済に充てられた繰出金なども債務として算定する。地方債協議(届出)制度の下、この比率が18％以上になると、地方債の発行に際し許可が必要となる。)

11. **将来負担比率**……一般会計等において、今後、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合である。

《注》 **標準税収入額等**……(基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金－市民税所得割における税源移譲相当額の25％－地方消費税交付金のうち引上げ分の25％)×100／75＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金

【H30:4,225,363千円】

**標準財政規模**……その地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的な一般財源の規模をいう。(標準税収入額等＋普通交付税額＋臨時財政対策債発行可能額)

【H30:7,786,807千円】